

報道関係各位

ジャパンインターナショナルボートショー2012 終了

3月1日(木)～4日(日) / パシフィコ横浜、横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県横浜市)

## 初の本格2会場開催のボートショーに 約3万5千人のマリンファンが来場

社団法人日本舟艇工業会は、2012年3月1日(木)から4日(日)までの4日間にわたり、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナ(ともに神奈川県横浜市)において『ジャパンインターナショナルボートショー2012』(第51回)を開催し、35,060名(2会場合計)のご来場者がありました。(日別一覧は次頁ご参照)

当工業会主催としては初の本格的2会場開催を実現し、計172社・団体が2012年ニューモデルなど多種多様なボート、ヨット、水上オートバイ等164隻の出展を中心に構成。マリンレジャーの最新情報をお伝えするとともに、第1会場では新設のダイビングコーナーやスモールボートコーナーのスタンドアップパドル等を導入、第2会場での体験乗船プログラムと併せ、総合マリンレジャーショーとしての魅力を拡充させました。

また「東北元気プログラム」として、「届けよう! 応援の海風」のキャッチフレーズのもと東北応援大使になっていただいた、さかなクン(東京海洋大学客員准教授)をはじめとする海好き著名人44名による公式ホームページでのメッセージの発信や、マリンチャリティオークション、東北3県の物産、飲食を集めた東北元気コーナー等さまざまなプログラムを実施しました。オークションの売上金1,576,000円(マリンジャーナリスト会議からの寄付金102,000円を含む)は、福島県いわき市小名浜の『みなとまち創造会議』に贈呈しました。

第1会場のステージでは、当工業会が普及振興の軸として取り組むボートフィッシングをテーマにしたトークショー、主催者企画の「マリンパラダイスコーナー」では、ウォーターセーフティーニッポンやビーチクラブ全国ネットワーク、ヤマハ発動機等が、水辺の安全、水上でのバランス、ボートの科学等多彩なプログラムを実施し、家族連れを中心に延べ約2,000名の方が参加されました。

第2会場では、マリーナという立地を生かしての体験乗船プログラムを3月3日(土)、4日(日)に実施。3日はあいにくの強風のため一部中止になりましたが、ヨット体験、東京湾航海講座、ボート体験等2日間で、合計289名の方々が参加されました。

一方、臨港パークでは横浜港ボート天国のご協力で、マリンスポーツ財団主管の「マリンスポーツフェスタ」を行い、ジェットスポーツの迫力ある演技やレスキューデモンストラレーションに散歩や観光に訪れた方々も立ち止まり、写真を撮ったり、歓声を上げていました。



●ご来場者数

日程	来場者数	2012年 来場者数		2011年
		合計	(第1会場)	
3月1日(木)(くもり)	4,880名	3,876名	1,004名	6,036名
3月2日(金)(くもり)	5,532名	4,747名	785名	6,635名
3月3日(土)(晴れ)	11,757名	9,151名	2,606名	13,342名
3月4日(日)(くもり)	12,891名	10,311名	2,580名	17,227名
◆累計	35,060名			43,240名

◆ジャパンインターナショナルボートショー2012（第51回）の様様



●第1会場 パシフィコ横浜



3月1日(木)開会式(パシフィコ横浜)



パシフィコ横浜全景



ヨットコーナー



スモールボートコーナー



ステージ「届け! 応援の海風」



パラダイスコナー 海楽習

●第2会場:横浜ベイサイドマリーナ



フローティング展示全景(ボート29隻、ヨット10隻)



「体験セーリング」



お試し!! ボーティング

●報道関係皆様からの本件に関するお問い合わせ、また画像などご希望の際はこちらへご一報ください●

※2012年3月9日(金) 15時まで(期間中は平日の10時から18時)

社団法人日本舟艇工業会 広報分室(ユースプランニング内) / 担当: 岡田、柞山(ホウサヤマ)、久保田

TEL: 03-3406-3411 / E-mail: t-hosayama@yocpr.com